



2016. 10. 1

10月 ちとせだより

10月は運動に最適な季節です。幼稚園では、子どもたちは運動会を契機にして、宇宙ロケット発射！、ツバメの冒険、リレーなど、運動会での演技種目を、運動会が終わってからも繰り返し楽しんでいます。運動会の時よりも、速く、上手になっているかもしれません。

色々なスポーツの場面で「体が覚える」という言葉を耳にします。

例えば自転車に乗ることのように、身体各部其々の動きを個別に意識しなくても、身体全体としてバランスの採れた、効率の良い動きができることを指しています。反復練習の中で失敗と工夫を繰り返した結果、身体各部が調和して動くようになるのでしょうか。

運動に限らず色々な事が「勘良く」直ぐに出来る子もいれば、そうではない子もいます。幼稚園の年代は、心身の発育状況における個人差が比較的大きいときです。私たちは、「出来た」「出来なかった」という結果よりも、一所懸命に取り組む、色々なやり方を工夫してみる、その過程を大切にしたいと考えていますし、子どもたちがその試行錯誤を楽しみ、上手くできるようになっていく喜びを獲得して欲しいと願っています。

そして、ツバメの冒険やパラバルーンのように、他の人と協力する、動きを合わせる、補い合うといったことについても、互いに協力して試行錯誤する過程を楽しみ、個人種目とはまた違う喜びを得て欲しいと考えています。

「上手いかない」ことは「たくさん練習する」良い契機でもあること、「競う」ことは「互いに高めあう」ことであって、決して他者を蹴落としたり押し退けたりすることではないこと、そのことを体で覚えて欲しい、そう思います。

年主題 『平和とともに』

<年主題聖句> 「キリストは私たちの平和であります。」

(エフェソの信徒への手紙 2章 14節)

10月主題 『ふれあう』

<聖句> 「あなたがたは地の塩である。」

(マタイによる福音書 5章 13節)